

登壇者プロフィール

【関根留理子（せきね るりこ）ジャパン・フィルムコミッション事務局長】

長崎市生まれ。2004年から長崎県フィルムコミッションで約5年間F C事業に従事。2009年のJ F C設立に伴い、事務局次長として事業全般を担当し、2017年10月より現職。

【三坂知絵子（みさか ちえこ）監督】

山口県下関市出身。女優、アクティングコーチ、映画監督。中学生の頃より地元の劇団で演劇を始め、早稲田大学第一文学部にて演劇映像学を、東京大学大学院にてメディア環境学を修める。2018年、LPJ（リトルプロフェッショナル・ジャパン）を立ち上げ、親子向け演技ワークショップや芸術活動に関する制作現場環境の調査研究などを継続的に実施。2001年の「山口きらら博」ではエネルギー中国電力館のミュージカル「GOKU2001」（監修：鴻上尚史氏）に出演。映画「カーテンコール」（2005年）では下関市出身の佐々部清監督とともに出演者の方言ガイド音声を作成。奥田瑛二監督の映画「風の外側」（2007年）では下関弁の方言指導をおこなうなど、山口県とかかわりのある仕事も多数。

本作「ちくわっちゃ！」が初めての監督作品である。

【鈴木徳至（すずき とくし）映画プロデューサー】

1986年東京都生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。在学中より石井克人監督作品などの現場に参加。2013年、初プロデュース作である短編映画『隕石とインポテンツ』が、カンヌ国際映画祭短編コンペティション部門に正式招待される。その後はフリーランスの映画プロデューサーとして新進気鋭の監督たちと多数の作品を制作・公開する傍ら、商業映画の現場制作部としても研鑽を積む。

2019年、コギトワークスに入社。プロデューサーを務めた『逃げきれた夢』『ナミビアの砂漠』が2年連続でカンヌ国際映画祭に正式招待され、後者は国際映画批評家連盟賞を受賞。2025年12月より、コギトワークスを退社してK2 Picturesへ参画。



【関根事務局長】



【三坂監督】



【鈴木プロデューサー】